

スギ
花粉症

通年性
アレルギー性
鼻炎

にお悩みの
患者さんへ

見つけよう！ あなたに合った 治療法

よくわかる **スギ花粉・ダニアレルゲン** による
アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法

監修：

日本医科大学大学院医学研究科
頭頸部・感覚器科学分野 教授

大久保 公裕 先生



もくじ

○はじめに	2
○スギ花粉症とは	3
○通年性アレルギー性鼻炎とは	5
○アレルギー性鼻炎の診断	7
○アレルギー性鼻炎の治療	8
○アレルゲン免疫療法とは	9
○舌下免疫療法とは	11
○期待できる効果	13
○副作用	14
○舌下免疫療法をご希望の方へ	15
○症状をチェックしてみよう	17



はじめに ～スギ花粉症・通年性アレルギー性鼻炎にお悩みの患者さんへ～

スギ花粉症は、スギ花粉が原因(アレルゲン)となっておこるアレルギー疾患です。通年性アレルギー性鼻炎は、ダニ、真菌(カビ)、昆虫、ペットの毛などが原因となり、季節に関係なく症状があらわれるアレルギー疾患です。

どちらも、主にくしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのつらいアレルギー症状を伴い、その症状によって日常生活のさまざまな場面で影響を及ぼすことがわかっています。

スギ花粉症と通年性アレルギー性鼻炎の治療法のひとつに、アレルゲン^{めんえきりようほう}免疫療法があります。

アレルゲン免疫療法は、アレルギーの原因となっているアレルゲンを少量から投与することで、体をアレルゲンに慣らし、アレルギー症状を和らげたり、日常生活に与える影響を改善するなどの効果が期待されます。



アレルゲン免疫療法は、
根本的な体質改善が
期待できます。

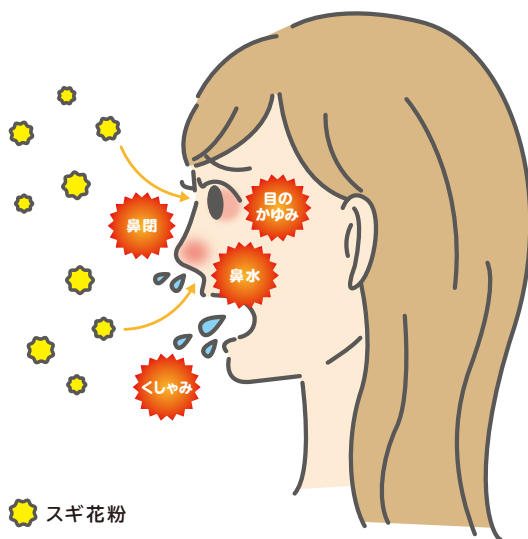
これまでのアレルゲン免疫療法は、医療機関で皮下^{ひ か}に注射する「皮下^{めんえきりようほう}免疫療法」だけでした。しかし、最近では、舌の下で治療薬を保持する^{ぜっか めんえきりようほう}「舌下免疫療法」のお薬が登場し、自宅で服用できるようになりました。

本冊子では、スギ花粉症・通年性アレルギー性鼻炎にお悩みの方に、舌下免疫療法の概要や期待される効果、副作用についてわかりやすく解説します。

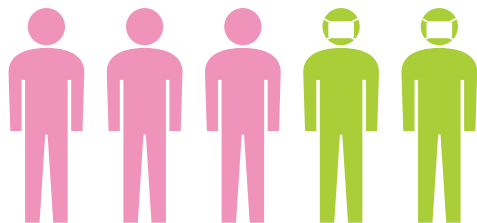
スギ花粉症とは

花粉症とは、植物の花粉が原因となって、くしゃみ、鼻水、鼻づまり、目のかゆみなどのアレルギー症状をおこす疾患です。

スギ花粉が原因（アレルゲン）となるものを、スギ花粉症といいます。



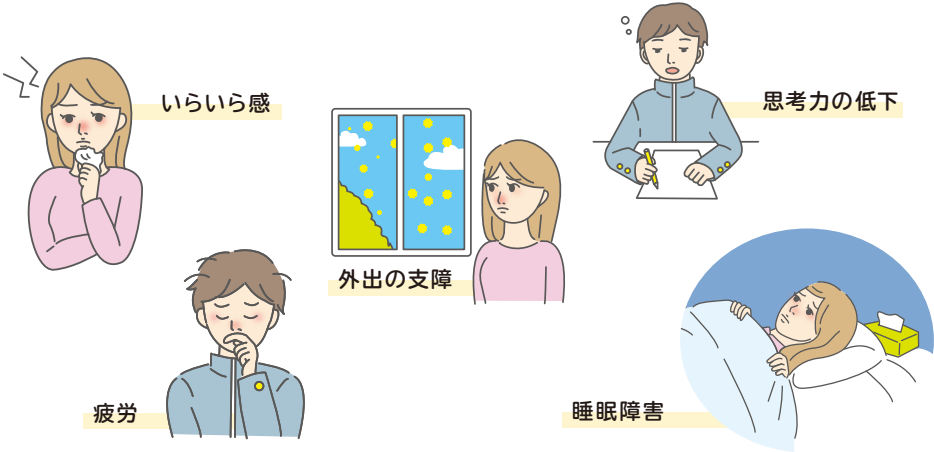
アンケート調査の結果、日本人の38.8%※の人がスギ花粉症であることがわかりました。



約5人に2人が
スギ花粉症と
いえます。



スギ花粉症のつらい症状は、日常生活のさまざまな場面で影響を及ぼすことがわかっています※。



※日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会編：
鼻アレルギー診療ガイドライン2024年版(改訂第10版) 金原出版,2024

代表的な花粉症原因植物の開花期

スギ花粉は、春先に飛んでスギ花粉症を引き起こします。季節によって、スギ花粉以外の植物の花粉が花粉症を引き起こすことも知られています。

			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木	スギ科	スギ												
	ヒノキ科	ヒノキ												
	カバノキ科	シラカンバ												
		ハンノキ属												
草花	イネ科	カモガヤ・ホソムギなど												
	キク科	ブタクサ属												
		ヨモギ属												
	アサ科	カナムグラ												

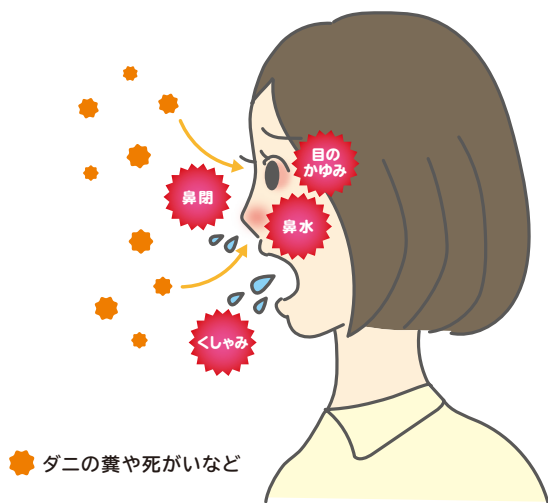
提供:元東邦大学薬学部教授 佐橋 紀男 先生

通年性アレルギー性鼻炎とは

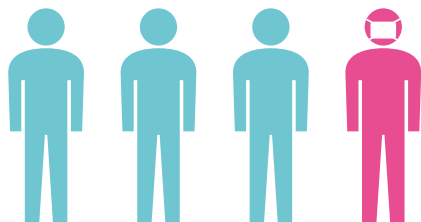
通年性アレルギー性鼻炎とは、くしゃみ、鼻水、鼻づまりなどのアレルギー症状が、季節を問わずあらわれる疾患です。

通年性アレルギー性鼻炎の主な原因(アレルゲン)は、ダニ、真菌(カビ)、昆虫、ペットの毛などが知られています。

鼻の症状だけでなく、目のかゆみや涙目をとまなうこともあります。



アンケート調査の結果、日本人の24.5%※の人が通年性アレルギー性鼻炎であることがわかりました。

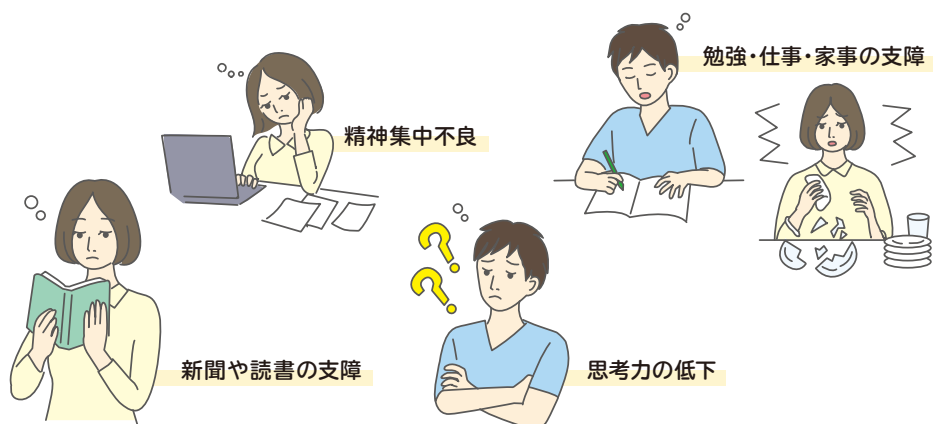


約4人に1人が
通年性アレルギー性
鼻炎といえます。



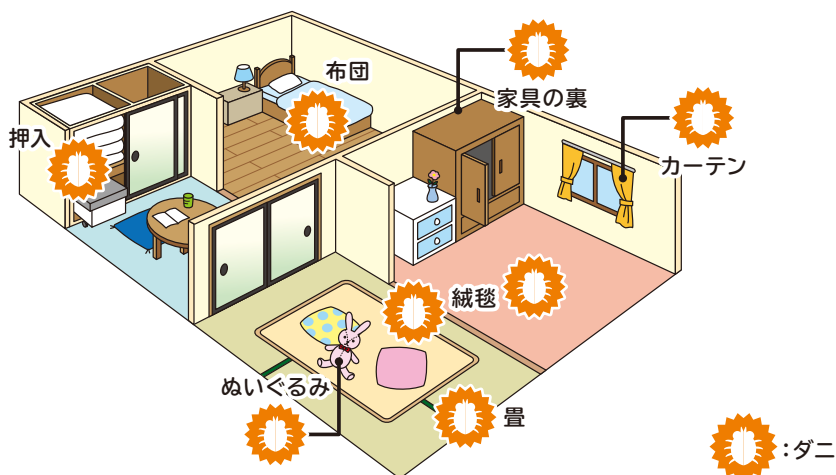
※日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会編：
鼻アレルギー診療ガイドライン2024年版(改訂第10版) 金原出版,2024

通年性アレルギー性鼻炎のつらい症状は、日常生活のさまざまな場面で影響を及ぼすことがわかっています※。



※大久保公裕ほか:アレルギー・免疫 19(1):113, 2012

通年性アレルギー性鼻炎の主な原因として考えられているダニは、暖かく、湿気のある布団じゅうたんや絨毯、畳などを好みます。



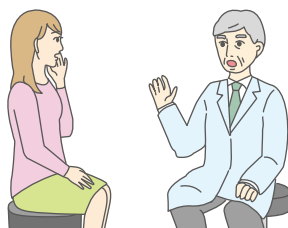
(監修) 国立病院機構相模原病院特任院長補佐(臨床研究担当)/特任研究部長 谷口正実先生
国立病院機構相模原病院臨床研究センター臨床研究推進部長 福富友馬先生

アレルギー性鼻炎の診断

アレルギー性鼻炎は、問診と、皮膚^{ひふ}反応テストや血清^{けっせいこうたい}抗体検査などの検査結果から総合的に診断します。

問診

アレルギー性鼻炎かその他の疾患かを判断するために、症状が出る時期や程度、アレルギー歴などについて聞かれます。



アレルギー性鼻炎の検査

● 皮膚反応テスト

アレルゲンに対する皮膚の反応を調べます。



● 血清抗体検査

血液検査をします。アレルゲンに対する抗体の量を調べます。



● ^{びきょう}鼻鏡検査

鼻鏡と呼ばれる道具を使って鼻の粘膜を確認します。

● ^{びじゅう}鼻汁検査

鼻水を採取し、鼻汁中の好酸球を調べます。

アレルギー性鼻炎の治療

アレルギー性鼻炎の治療では、アレルゲンを避けることが基本になりますが、必要に応じて薬物療法やアレルゲン免疫療法、手術療法などを行います。

スギ花粉の除去・回避

外出時にマスクやメガネを着用する、室内や寝具などを清潔に保つなどの方法で、アレルゲンを回避します。



ダニアレルゲンの除去・回避

室内や寝具などを清潔に保ち、アレルゲンを回避します。



薬物療法

症状をおこす物質（ヒスタミンなど）の働きや鼻の中の炎症をおさえて、症状を和らげます。



アレルゲン免疫療法

体をアレルゲンに慣らして、症状を和らげます。
根本的な体質改善が期待できます。

皮下免疫療法



舌下免疫療法



手術療法

鼻の粘膜を固くしたり、神経を
遮断して、症状を和らげます。
しゃだん

舌下免疫療法は
アレルゲン免疫療法
に分類されます。



アレルギー免疫療法とは

アレルギー免疫療法は、アレルギーの原因であるアレルギーを少量から投与することで、体をアレルギーに慣らし、症状を和らげたり、根本的な体質改善が期待できる治療法です。

原因となるアレルギーを用いて行う治療法のため、原因となるアレルギーを確定する確定診断が重要です。

- アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる可能性のある治療法です。

完全に症状がおさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の使用量を減らすことが期待できます。

- アレルギーを投与することから局所や全身のアレルギー反応がおこるおそれがあり、まれに重篤な症状が発現するおそれがあります。

- 治療は長期間(3~5年)かかります。

正しく治療が行われると、スギ花粉症の舌下免疫療法では、治療開始後の初めてのスギ花粉飛散シーズンから、通年性アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法では、治療を開始して数ヵ月後から効果が期待されます。年単位で継続することで最大の効果が得られると考えられます。

アレルギーの投与量を
少量から始め、徐々に
増やしていく

長く続けることが大切です。



一定量のアレルギーを長期間投与

治療期間は3~5年

アレルギー免疫療法には、「皮下免疫療法」や「舌下免疫療法」があります。



こんな違いがあります。

	皮下免疫療法	舌下免疫療法
投与方法	皮下に注射	舌下に投与
投与する場所	医療機関で、医師のもとで実施	自宅で服用 (初回投与のみ医師のもとで服用)
痛み(注射による)	あり	なし
治療に対する患者さんの理解	必要	皮下免疫療法より詳しく必要

皮下免疫療法は、皮下に注射する治療法で、医療機関で行われます。注射であるため痛みを伴い、さらに治療の始めは徐々に増量するため頻回に通院が必要となります。

一方、舌下免疫療法は舌下に治療薬を投与するため、皮下免疫療法のような痛みがなく、自宅で服用できます。しかし、服用量や服用方法、副作用に対する対応など、医療機関で行う皮下免疫療法と比べてより治療に対する患者さんの理解が必要な治療法です。

わが国における舌下免疫療法では、スギ花粉症とダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎が保険適用となっています。

舌下免疫療法とは

スギ花粉症、またはダニアレルゲンが原因の通年性アレルギー性鼻炎と確定診断された患者さんは、舌下免疫療法による治療を受けることができます。

服用期間の例

- 1日1回、少量から服用を始め、その後決められた一定量を数年間にわたり継続して服用します。
- 初めての服用は、医療機関で医師の監督のもと行い、2日目からは自宅で服用します。

少量から服用

決められた一定量を服用
(定期的に受診※)

3年以上(推奨)

※少なくとも1ヵ月に1度、受診が望まれます。

服用方法の例

治療薬を舌の下に置き、お薬ごとに定められた時間保持したあと、飲み込みます。その後5分間はうがい・飲食を控えます。毎日の服用が必要です。



服用時に避けること

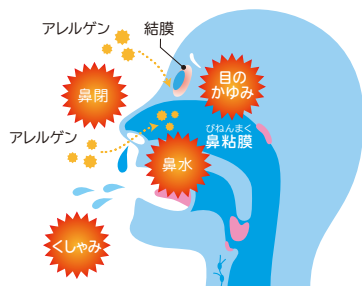
服用前、及び服用後2時間は、激しい運動、アルコール摂取、入浴などは避けるようにしてください。また、服用後2時間以降にこれらを行う場合にも副作用の発現に注意してください。



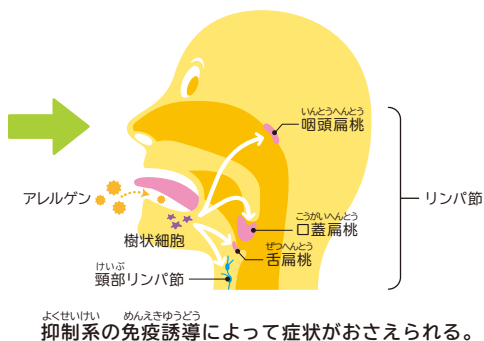
効果を発現するメカニズム

効果を発現するメカニズムは十分には解明されていません。舌の下から入ったアレルゲンが体内で反応し、アレルギー反応を抑制する免疫反応がおこることで症状がおさえられると考えられています。

アレルゲンによるアレルギー反応



症状の抑制



期待できる効果

長期にわたり、正しく治療が行われると、アレルギー症状を治したり、長期にわたり症状をおさえる効果が期待できます。

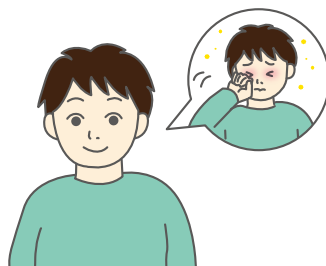
症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の減量が期待できます。

スギ花粉症とダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法では、以下の効果が期待できます。

くしゃみ、鼻水、鼻づまりの改善



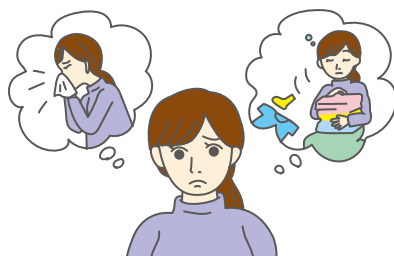
涙目、目のかゆみの改善



アレルギー治療薬の減量



QOL(生活の質)の改善



スギ花粉症の舌下免疫療法では、治療開始後の初めてのスギ花粉飛散シーズンから、ダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法では、治療を開始して数ヵ月後から効果が期待されます。年単位で継続することで最大の効果が得られると考えられます。

副作用

舌下免疫療法には、以下の副作用があらわれるおそれがあります。

主な副作用

口の中の浮腫^{ふしゅ}、腫れ、かゆみ、不快感、異常感

唇の腫れ

喉^{のど}の刺激感、不快感

耳のかゆみ など



重大な副作用

● ショック

● アナフィラキシー※

※アナフィラキシー

医薬品などに対する急性の過敏反応により、医薬品投与後多くの場合30分以内で、^{じんましん}蕁麻疹などの皮膚症状や、腹痛や嘔吐^{おうと}などの消化器症状、息苦しさなどの呼吸器症状、突然のショック症状^{そうはく}（蒼白、意識の混濁^{こんだく}など）がみられる。

治療に対する正しい理解が必要です。



舌下免疫療法をご希望の方へ

トリーさん、教えて！～舌下免疫療法、まめ知識～

舌下免疫療法と、これまでの薬物療法との違いは？

これまでのお薬は、症状をおこす物質（ヒスタミンなど）の働きや鼻の中の炎症をおさえて症状を和らげます。アレルギー免疫療法は、体をアレルギーに慣らして、症状を和らげたり、根本的な体質改善が期待できる治療法です。

どこで治療できるの？

医師や薬剤師にご相談ください。

また、アレルギー免疫療法専門サイト「トリーさんのアレルギー免疫療法ナビ」では、スギ花粉症とダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法について相談できる医療機関の情報を検索することができます。

いつから始められるの？

スギ花粉症に対する舌下免疫療法は、スギ花粉が飛んでいる時期は、治療を新たに開始することはできません。

スギ花粉症の「アレルギー」は「スギ花粉」であり、スギ花粉が飛んでいる時期はアレルギーに対する体の反応性が過敏になっています。そのため、スギ花粉が飛んでいない時期に治療を開始します。治療開始時期については、医師とご相談ください。

ダニアレルギーによる通年性アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法は、時期に関係なく、いつでも開始できます。

どれくらい治療するの？

少しずつアレルギーを投与し、体をアレルギーに慣らすことから始め、数年にわたり継続して服用します（3年以上推奨）。そのため、定期的な受診が重要です。

効果はどれくらいであられるの？

正しく治療が行われると、スギ花粉症の舌下免疫療法では、治療開始後の初めてのスギ花粉飛散シーズンから、ダニアレルゲンによる通年性アレルギー性鼻炎の舌下免疫療法では、治療を開始して数ヵ月後から効果が期待され、年単位で継続することで最大の効果が得られると考えられます。

長期間、正しく治療が行われると、アレルギー症状を治したり、治療終了後も長期にわたり症状をおさえること、または症状が完全におさえられない場合でも、症状を和らげ、アレルギー治療薬の使用量を減らすことも期待できます。

気をつけることは？

アレルゲンを投与することから、服用後にアレルギー反応がおこるおそれがあり、まれに強いアレルギー症状が発現するおそれがあります。

何歳から治療ができるの？

小児の患者さんも治療ができます。医師とご相談ください。

舌下免疫療法をご希望される患者さんは、
ぜひ医師や薬剤師にご相談ください。



症状をチェックしてみよう！

1 現在の症状について教えてください

症状 重症度	くしゃみ発作 (回数/日)	鼻かみ (回数/日)	鼻づまり
症状なし	☐ なし	☐ なし	☐ なし
軽症	☐ 1～5	☐ 1～5	☐ □呼吸は全くないが つまっている
中等症	☐ 6～10	☐ 6～10	☐ 強く、 □呼吸が1日のうち、 ときどきある
重症	☐ 11～20	☐ 11～20	☐ 非常に強く、 □呼吸が1日のうち、 かなりの時間ある
最重症	☐ 21～	☐ 21～	☐ 1日中完全に つまっている

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー感染症学会 鼻アレルギー診療ガイドライン作成委員会編：
鼻アレルギー診療ガイドライン2024年版(改訂第10版) 金原出版, 2024より作成

2 これまでに 1 の症状に対して治療を実施したことはありますか？

☐ ない ☐ 市販薬 ☐ 医療機関を受診

3 年間を通して症状は変化しますか？

- ☐ 1年中同じ
- ☐ 1年中あるが季節により悪化する(月ごろ)
- ☐ ある季節だけ症状が出る(月ごろ)

4 現在の症状によって困っていることはありますか？

- ☐ 仕事・勉強・家事
- ☐ 屋外活動
- ☐ 睡眠
- ☐ その他()

5 スギ花粉症または通年性アレルギー性鼻炎の治療で使用しているお薬はありますか？

- ☐ 内服薬
(お薬の名前:)
- ☐ 点鼻薬
(お薬の名前:)
- ☐ 点眼薬
(お薬の名前:)

舌下免疫療法(アレルギー免疫療法)を 詳しく知りたい方へ

舌下免疫療法(アレルギー免疫療法)について詳しく解説したホームページ
「トリーさんのアレルギー免疫療法ナビ」<https://www.torii-alg.jp/>
もご覧ください。



スマートフォンなどの携帯電話からもご覧いただけます▶

二次元バーコード

舌下免疫療法をご希望される方は

_____に来院してください。



※ご不明な点があれば、医師または薬剤師にご相談ください。

連絡先(病医院・薬局名)



鳥居薬品株式会社
東京都中央区日本橋本町3-4-1

2024年9月作成
CDC TE019D